

平成30年度 川口市行政評価外部評価委員会 質問・指摘及び回答一覧表

部 会	第二部会	事業コード	24300305
事業名称	多文化共生推進事業	事業担当課	協働推進課

◎ヒアリング(質疑応答)

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
1	多言語とは、主に何カ国語ぐらいを示しているのか。	主に英語、韓国語、中国語、トルコ語、タガログ語、ベトナム語等である。	
2	指標②日本語ボランティア育成事業修了者数について、目標値が未達成だが、告知方法はどのようなものか。	市内公共施設におけるチラシ配布、広報かわぐち、HP等での掲載を行っている。	
3	「国籍・地域別でみる外国人の状況」について、33,000人を超える外国人が川口市に在住しているが、単身世帯と家族世帯の比率はどのようなものか。 子どもと大人では支援する内容が異なってくると思う。	平成30年4月1日現在、日本人世帯が259,851世帯に対し、外国人世帯は16,979世帯、複数国籍世帯は4,851世帯である。また、年齢別では、外国人は20～29歳、30～39歳の比率が高く、子育て世代が多いことが示されている。	第3回で回答 【別添資料】 人口と世帯(多文化-15)
4	事業内容がかなり幅広いが、この事業を実際に行っているのはどのような方か。	内容によって、市の職員、国際交流員、外国人相談員等が対応している。 日本語ボランティア教室については、市の直営で講師をお願いしている。 また、外国人に対して日本語や日本の習慣等を教える教室が現在19教室あり、ボランティアの方に対応いただいている。	
5	現在、国際交流員2名、外国人相談員3名とあるが、人数については、現状でよいのか。	相談件数も増加しており、国際交流員については、トラブル等が発生した際に現場で対応いただいております。そちらに関しても増加傾向にあるため、可能であれば、今後人数を増やしていきたいと考えています。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
6	通訳業務は、国際交流員が行っているのか。	現在、英語・中国語・日本語の国際交流員を配置している。それ以外については、多言語ボランティアの方をお願いしている。	
7	相談件数の内容は、どのようなものか。 また、相談内容の引継ぎ等を行っているのか。	就業や生活、行政手続きの相談等、多岐にわたる内容である。相談内容とその対応については、記録している。	
8	今後の実施可能性について、現状維持で実施とあるが、財政的な規模についてか、内容的なものについてかどちらか。	外国人住民も増加しているため、内容を拡充したいところではあるが、現状見通しが立っていないため、現状維持としている。	
9	この事業の他に、実施しようと考えている事業はあるか。	具体的な案はまだないが、今後は、実際に生活されている方の中に入り、活動ができればよいと考えている。	
10	外国人実習生についても資料の中の数字に含まれているか。 また、商工会議所や鋳物組合等との連携は考えているのか。	川口市における外国人の数について、1中国、2韓国、3ベトナムであったが、直近の数字では、ベトナム人と韓国人の数が逆転している。川口における外国人の構成の特徴として、ベトナム人実習生が多いということがあげられる。 商工会議所等との連携については、現在具体的なものはないが、希望があった際に、外国人実習生の交流の場を設けている。	
11	日本語教室の参加者数はどのくらいか。 また、教室の運営に関わるボランティアの方は何人くらいいるのか。外国語ができなくてもよいのか。	教室の規模によって異なるが、かなり盛況である。市内に19教室あり、市民パートナーステーションで実施する教室が多く、その他、公民館等で行っている。数人～十数人のボランティアの方が参加しており、外国語ができなくても可能である。	
12	年度別事業費内訳表の決算額に関して、平成26・27年度と比較して、28年度以降増えているが理由はあるか。	国際交流員1名増員したため、それに係る人件費である。	
13	日本語教室等は、外国人の方は無料で受けられるのか。	基本的には無料である。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
14	外国人同士の摩擦については、把握しているのか。	一部聞いたことがあるが、日本人と外国人とのトラブルが圧倒的に多い。	

◎追加項目(第3回委員会で回答)

番号	委員の要求	回答方法	回答内容
1	スマートフォンを利用したの情報告知等、IT活用を行っているのか。行っていないのであれば、今後行う予定はあるのか。	説明	平成27年度に川口市と芝園団地自治会の協働事業で、中国のSNS微信(WeChat)のアカウントを立ち上げ、市や芝園団地自治会のイベント等の情報を発信している。平成29年度からは、芝園団地自治会にアカウントを移管している。
2	ボランティアの主体はどのような方か。外国人ボランティアはいるか。いない場合は、外国人ボランティアの活用は考えているのか。日本人ボランティアの年齢構成はどのようなものか。	説明	日本語教室のボランティアは日本人の高齢者が多く、新たな人材発掘のため日本語ボランティア入門講座を実施している。一方、多言語ボランティアは、約6割が日本人であるが、帰化した方も含まれており、また年齢構成は様々である。
3	外国人の人数が現在一定の割合で増加しているが、いつ頃に何人ぐらい増え、何人ぐらいの国際交流員や外国人相談員が必要になるのか、将来的な見込みはどのぐらいか。	説明	市の外国人住民は年間3,000人程度のペースで増え続けている。今後の見通しとして、何人ぐらいの国際交流員や外国人相談員が必要になるか、一概に申し上げるのは難しいが、社会の変化に対応して課題を的確に捉えて解決に向けた施策を講じるとともに、組織の見直しも含めて、体制を拡充していくことが求められるのではないかと考える。リーマンショックのような世界規模の経済的な影響や東日本大震災のような大規模な災害が発生しないかぎり、外国人住民の増加傾向は続く予想する。
4	例えば盛人大学等、他事業と本事業との連携の可能性はあるのか。	説明	多文化共生推進事業として、他の事業との連携について具体的な構想はないが、外国人住民対象の税と年金の講習会や外国人対象の防災訓練講習会など、他の部局と連携して事業を実施したり、国際交流員や外国人相談員、多言語ボランティアを活用して通訳の派遣や文書の翻訳を行うなど、市内各課や小中学校、医療センターの事業を支援している。
5	今後、このような事業の役割が拡大していくと思われるが、必要だと思われる事業はどのようなものと考えているか。	説明	第2次川口市多文化共生指針では、これまで支援の対象だった外国人住民にもまちづくりの担い手として活躍していただくことを謳っている。地域に在住している外国人住民で、多文化共生推進のリーダーになれる人材を掘り起こし、活躍を推進していくことで、行政からの情報を発信したり、外国人住民からのメッセージを受け取れるようになり、地域の多文化共生が推進されるのではないかとと思われる。

人口と世帯

平成30年4月1日現在

区分	総数	日本人	外国人	対前月比	
				増減数	増減率(%)
人口	601,055	567,405	33,650	667	0.11
男	304,895	288,370	16,525	314	0.10
女	296,160	279,035	17,125	353	0.12

区分	総数	日本人世帯	複数国籍世帯	外国人世帯	対前月比	
					増減数	増減率(%)
世帯数	281,681	259,851	4,851	16,979	1,211	0.43

※複数国籍世帯とは、日本人と外国人で構成する世帯である。

（出典：かわぐちの人口 第1表）

年齢別統計

平成30年4月1日						
年齢階級別 (歳)	外国人(人)	比率(%)	日本人(人)	比率(%)	総数(人)	比率(%)
0～9	3,841	11.4	47,493	8.4	51,334	8.5
10～19	2,088	6.2	50,927	9.0	53,015	8.8
20～29	9,714	28.9	60,363	10.6	70,077	11.7
30～39	8,791	26.1	72,825	12.8	81,616	13.6
40～49	4,690	13.9	98,245	17.3	102,935	17.1
50～59	2,942	8.7	73,641	13.0	76,583	12.7
60～69	1,112	3.3	66,006	11.6	67,118	11.2
70～79	350	1.0	62,199	11.0	62,549	10.4
80以上	122	0.4	35,706	6.3	35,828	6.0
合計	33,650	100.0	567,405	100.0	601,055	100.0

（出典：川口市における外国人住民の現状）

平成30年度 川口市行政評価外部評価委員会 質問・指摘及び回答一覧表

部 会	第二部会	事業コード	13101001
事業名称	緊急通報装置整備事業	事業担当課	長寿支援課

◎ヒアリング(質疑応答)

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
1	通報件数が288件とあるが、内訳はどのようなものか。	搬送あり226件、搬送なし49件、駆けつけ13件の合計288件である。	
2	緊急通報装置の貸与は無料か。	無料であるが、紛失・破損した場合は自己負担となる。	
3	対象者に認知症の方は含まれるのか。 介護保険が適用されている方が対象なのか。	認知症については要件ではなく、急性疾患のある方や脳疾患がある方が対象である。また、介護保険の適用の有無は要件としていない。	
4	24時間365日対応するオペレーターは、専門の看護師か。	そうである。	
5	専門の看護師は、業務委託先との契約か。	そうである。	
6	通報装置の設置を申請するには、医師の証明書があればよいのか。	対象としている疾患が、狭心症、脳血管性疾患、末期ガン等の21疾患である。その他の急性の疾患に関しては、保健師が協議して対象とするか判断している。貸与の際には、所定の証明書の提出を求めている。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
7	医師の所見は求めるのか。	高齢者に多い救急疾患は、脳血管障害、心疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患とされているため。 また、4疾患については、申請希望者から相談があり疾患の症状や医学的な処置やリスクがどの程度か確認し、証明書の医師の所見の欄や備考を確認して総合的に判断し対象疾患としました。	
8	緊急性の高い疾患を患っている方は、かかりつけの病院があると思うが、かかりつけの病院との連携は難しいのか。救急病院でないといけないのか。	通報装置を押して救急搬送となった場合、意識があればかかりつけの病院へ搬送することも可能であるが、連携は難しいと考えている。	
9	搬送は、通常の救急搬送と同様か。 また、救急搬送となった場合、救急車を呼ぶのは誰か。	通常の救急搬送と同様である。 委託業者のオペレーターが受け、通報装置を押された方と会話し、救急搬送が必要となった際にオペレーターが救急車を呼ぶ。	
10	委託先と消防局による情報共有はされているのか。	消防局においても、対象者の住所を把握している。	
11	新規で設置すると年間2万円程度費用がかかるが、この金額は妥当なのか。他の民間企業と比べて、安いのか、高いのか。 また、個人で契約する場合の費用は、どの程度か。	無料のため、受益者に対する水準としては妥当だと考えている。 総合警備保障、セコムで同様の事業を行っているが、 【総合警備保障】 (工事料)11,000円 (月額)2,400円 【セコム】 (工事料)44,000円 (月額)4,700円 (保証金)20,000円である。	
12	個人で現委託先と契約した場合の費用は、どのくらいか。 また、どのくらいの期間契約しているのか。	現委託先は自治体としか契約を行っておらず、また、平成19年度より契約している。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
13	通報装置の設置を希望したが、対象ではないため、設置できないという場合はあるのか。 また、予算が限られているため、対象者であっても設置を断ったケースはあるのか。	対象とならない希望者には、急変性をきたす恐れのある疾患を患っている方を対象としている旨を説明し、理解いただいている。 また、これまで対象者を断ったケースはない。	
14	視点評価の公平性の箇所について、受益者の資格条件が不適正とあるが、不適正の理由はなにか。	現在、対象を21疾患としているが、その他の疾患においても緊急性の高い場合があり、対象者を明確に限定することが難しいため、不適正としている。	
15	21疾患以外で対象とした疾患はどのくらいあるのか。 対象とするかどうかの判断は誰が行うのか。	慢性の腎臓病、間質性肝炎、高血圧症等の4疾患である。 長寿支援課の保健師が医学的観点から判断する。	
16	21疾患が対象となることの医学的根拠はあるのか。	追加項目2にて回答	第3回で回答

◎追加項目(第3回委員会で回答)

番号	委員の要求	回答方法	回答内容
1	平成19年度より現委託先と契約しているが、それ以前に契約していた会社はどこか。	説明	県外の事業者で、三信電気株式会社に業務を委託しておりました。
	10年以上同じ会社と契約しているが、業務実績の確認等は毎年行っているのか。行っている場合は、どのように行っているのか。	説明	緊急通報受信記録簿及び緊急通報装置整備事業の月次報告書の提出を受けている。 不明な点については、その都度、受託業者に対し問い合わせを行っている。 議会において決算審査を受けている。
	市が別会社と契約した場合に、個人で契約する場合は、費用が異なってくると思うが、どのくらいの費用がかかるのか、どの会社が安いのか等の検証は行ったのか。	資料	【別紙資料】 固定型 緊急通報サービス(緊急-10) 緊急通報システム他市比較(緊急-11)

番号	委員の要求	回答方法	回答内容
2	21疾患を対象としている医学的根拠はなにか。 また、新たに加わった4疾患に関して、対象とした医学的根拠はなにか。	説明	日本老年医学会の文献に高齢者に多い救急疾患は、脳血管障害、心疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患とされており、21疾患はこれにあてはまります。 また、4疾患については、申請希望者から相談があり疾患の症状や医学的な処置やリスクがどの程度か確認し、証明書の医師の所見の欄や備考を確認して総合的に判断し対象疾患としました。
	新たに加わった4疾患をお持ちの方全てに公平に適用となっているのか。	説明	内規で対象となる疾患を定めており、市民の方々からの問い合わせについては、内容を説明しておりますので公平に対応できていると考えております。
	21疾患以外に対象とすべきかどうかの判断を行う者が、保健師でよいのか。医師が関与すべきではないのか。	説明	21の疾患も、新たに加えた4疾患も医師からの証明書を提出してもらっており、医師の所見の欄や備考も確認しておりますので、妥当と考えております。
3	概ね65歳以上としている”概ね”はなにを指しているか。 対象の疾患に関しては、年代を問わず疾患すると思われるが、65歳を基準としている根拠はなにか。長寿支援課だからか。	説明	老人福祉法第5条の4(福祉の措置の実施者)の条文に(居宅における介護等)(老人ホームへの入所等)における福祉の措置は「65歳以上の者(65歳未満の者であって特に必要であると認められる者を含む。)」とされているため、「概ね」という表現を使っています。
	65歳以下の方の対応はどのようになっているのか。	説明	対象者を概ね65歳以上としているため、60歳以上の同疾患の方は、長寿支援課で対応しております。 なお、65歳未満の緊急通報が困難な身体状況にある重度身体障害者(1・2級または同程度の身体障害者手帳保持者)は、障害をお持ちの方の所管課で対応しております。
4	介護保険の適用となっている方は、ヘルパー等からこの事業に関する情報を得ることはできるのか。この事業と介護保険はなんらかの形で連携しているのか、いないのか。	説明	介護保険の認定は必要としておりませんが、居宅介護支援事業所のケアマネジャー等から事業の相談や問い合わせについては、事業の内容を説明しております。

固定型 緊急通報サービス

会社名	エース(株)	総合警備保障(株)	セコム(株)
サービス名	緊急通報	見守りサポート ※1	機器レンタルパック
サービス内容	救急要請 健康相談 駆けつけ 安否確認の電話連絡	救急要請 健康相談 駆けつけ	非常・緊急通報サービス(駆けつけ) 安否見守りサービス(センサー) 火災監視サービス 防犯サービス
金額	基本業務:820円(税込)/件 機器レンタル料:820円(税込)/件 設置工事費:2,050円(税込)/件 撤去工事費:2,050円(税込)/件	月額料金:2,400円(税別)/件 ※2 ペンダント:140円(税別)/件 設置工事料:11,000円(税別)/件 撤去工事料:11,000円(税別)/件	月額料金:4,300円(税別)/件 保証金:20,000円(非課税)/件 ※6 設置工事料:43,000円(税別)/件 撤去工事料:10,000円(税別)/件
オプション		安否確認の電話連絡:1,000円(税別)/件 ※3 見守り情報配信サービス ※4 ライフリズム監視サービス ※5	安否確認の電話連絡は出来ない。

※1 契約期間は2年間。

※2 Oスタート:月額料金:2,960円(税別)/件 設置工事料がかからない。

※3 ACS(グループ会社)と委託契約を組む。

※4 見守り情報配信サービス:710円(税別)/件 + 設置工事費:3,000円(税別)/件 + 撤去工事費:11,000円(税別)/件

※5 ライフリズム監視サービス:490円(税別)/件 + 設置工事費:4,800円(税別)/件 + 撤去工事費:11,000円(税別)/件

※6 自治体との契約を組んでいないため、保証金に関しては相談に応じて

緊急通報システム他市比較

	川口市	さいたま市	川越市	所沢市	蕨市	戸田市	
利用者数(平成30年3月現在)	1,395 人	2,569 人	487 人	1,530 人	337 人	610 人	
予算(平成29年度予算)	24,670,000 円	113,021,000 円	20,000,000 円	48,000,000 円	42,888,000 円	25,438,000 円	
1人あたり事業単価	17,685 円	43,994 円	41,068 円	31,373 円	127,264 円	41,702 円	
利用内容	①緊急通報②健康相談③安否確認(月1回)④駆けつけ	①緊急通報②健康相談③安否確認(希望者のみ)	①緊急通報②健康相談	【固定】①緊急通報②健康相談③安否確認(月1回)④駆けつけ⑤煙式火災感知器⑥生活反応センサー 【携帯】①緊急通報②GPS③歩数計機能	①緊急通報	①緊急通報②健康相談③安否確認(月1回)④駆けつけ	
利用者負担額	機器紛失時の弁償金	市内転居の場合の設置費	設置料 15,000円 (世帯生計中心者の所得税課税の場合)	機器紛失時の弁償金	機器紛失時の弁償金	機器紛失時の弁償金	
事業者	機器リース・設置・コールセンター	機器リース・設置	機器リース	コールセンター・機器リース(固定)	機器リース・設置	機器リース・設置・コールセンター	
	エース	NTT	リコー	エース	富士通マーケティング	アルソック	
	/	コールセンター	設置	設置	コールセンター・機器リース(携帯)	コールセンター	/
		アルソック	NTT	NTT	TOKAI	社会福祉協議会	
		保守点検	/	保守点検	/	/	
エース		エース					
コールセンター	コールセンター						
なし		なし					

平成30年度 川口市行政評価外部評価委員会 質問・指摘及び回答一覧表

部 会	第二部会	事業コード	23300202/23301001
事業名称	アートギャラリー企画関係費/アートギャラリー事業運営費	事業担当課	文化推進室

◎ヒアリング(質疑応答)

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
1	文化推進室はどのような職員体制になっているか。事業ごとに担当者は分かっているのか。	文化推進室は9名おり、その中にアートギャラリーに在籍する職員が4名いる。その他、非常勤特別職の職員が在籍している。事業ごとに担当者が分かれてはいない。	
2	企画関係費と事業運営費を分ける必要があるのか。	企画展に関しては、予算の使い方が流動的なものが多く、事業運営費は共催事業と貸館事業であるため、予算は流動的でない。一緒にしてしまうと、流動的なものと流動的でないものが混在してしまう可能性があるため、事業を分けている。	
3	自主企画にて行っている企画展覧会は、市の職員ではなく、非常勤の専門員が企画しているのか。	市の学芸員2名と専門員で企画し、専門補助員が補助している。	
4	学芸員2名、美術専門員1名、美術専門補助員3名の計6名ということか。	その6名の他に、事務職(市職員)が2名いる。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
5	流動的なものとそうでないものは分けて予算を組むほうがよいのか。	貸しギャラリーについては、借り手がついてはじめて収入を得ることができる。共催事業については、共催という考え方から広報支援を主な目的とし、それに伴う支出をしており、多少の増減はあるものの、一定額の予算の確保が必要である。企画展については、時期や客層に合わせて、展覧会を企画しているため、増減幅が大きく、予算が流動的になってしまう。そのため、企画展と共催事業・貸館の予算を分けたほうがよいと考えている。	
6	共催の場合は、自分たちでは企画はしないということか。	展示する内容については、共催団体で決定している。市としては、広報支援のみを行っている。	
7	共催事業と貸しギャラリーの違いは、広報支援の有無ということか。	貸しギャラリーに関しては、使用料を徴収しているが、共催事業は使用料を徴収していない。	
8	「川口市小・中・高校書きぞめ展」は共催事業であり、「川口市小学生図画コンクール入賞作品展」は貸しギャラリーであるが、違いはあるのか。	「川口市小・中・高校書きぞめ展」については、学校が主催であるが、「川口市小学生図画コンクール入賞作品展」については、小学校の協力を得ているが、実施主体は町会・自治会であるため、貸しギャラリーとしている。	
9	共催事業の実施主体はどこか。 全て市に関係する団体か。 アートギャラリーにて行っている展覧会は、自主的に企画するもの、市に関係する団体が企画するもの、町会・自治会等を含めた外部団体、個人が企画するものか。	川口市美術家協会、学校、市の水道局など全て市に関係する団体である。 そのとおりである。	
10	稼働率の資料はあるか。	資料を提供する。	第3回にて提示 【別添資料】 H29年度 ギャラリー稼働率(アート-12)
11	事業・展覧会によって、実施主体が異なるが、評価という観点からは、アートギャラリーに関して総合的に評価をすべきだと思うが、総合的な評価を行う予定はあるのか。	行政評価としては、一体化して評価するという考えはない。現在、文化芸術基本計画を策定しており、その中では一体化した評価を目指している。	

番号	質問/指摘の内容	回答内容	備考
12	スケジュールの調整はどのように行っているのか。	はじめに、企画展について、春・夏・秋・冬の時期に実施できるよう調整し、その後、共催事業の日程を調整する。その他の空いている時期を、貸館として貸し出している。	
13	2018年度のスケジュールはすでに決定しているか。	決定している。	第3回にて提示 【別添資料】 年間スケジュール (リーフレット)
14	展覧会の告知は、広報かわぐちにて行っているのか。	広報かわぐちに毎月掲載している。その他、隔月にてアトリアニュースを発行している。市内施設、市外の美術館、美術系の大学や専門学校などに配布している。	【別添資料】 アトリアニュース (リーフレット)
15	美術専門員と美術専門補助員の人件費は、アートギャラリー事業運営費から支出しているのか。業務内容としては、アートギャラリー企画関係費である自主企画にも関わっているのか。	予算上は、アートギャラリー事業運営費に計上している。業務としては、関わっている。	
16	貸しギャラリーの収入に関して、一日あたりいくらぐらいか。	市内在住・在勤・在学で 【展示室A・B】 10,280円/日 【スタジオ】 20,500円/日 である。	
17	上青木陶芸クラブに関しては、2日間の貸館で61,500円とあり、1日の使用料×日数とは異なるがなぜか。	3日間の誤りである。利用のうち、1日目は搬入日で開催は残りの2日間で行っている。1日目の搬入日のカウントが漏れてしまった。	第3回にて回答
18	事業費は分かれているが、事業の実施はアートギャラリー担当者で2事業に分けることなく行っているということでしょうか。	人件費に関しては、全体の人件費を2事業の業務割合の時間で割った机上的な数字になっている。	
19	平成18年に開館して12年程度経つが、今後の展望はあるか。	アトリアが他市の類似施設と差別化を図っている点として、1つは、若手のアーティストの発掘・育成を目指す新鋭作家展を行っていること、2つ目は、アーティストが直接小中学校へ行き、美術の時間に授業を行い、共同制作を創り上げるアーティストインスクールを行っていることの2点がある。この2点をより充実させて継続していく予定である。	

◎追加項目(第3回委員会で回答)

番号	委員の要求	回答方法	回答内容
1	稼働率はどのくらいか。	資料	ヒアリング(質疑応答)10にて回答
2	貸しギャラリーに関して、ラッキーワイド「造形の世界2017」のような形での貸し館がもっと増えたほうが良いと思う。貸しギャラリーの利用者団体へのPRはどのように行っているのか、もしくは、行っていく予定か。	説明	利用については、アートギャラリーHPや広報かわぐち及び利用のしおりを図書館・公民館等に配布し広報を行っている。また、ブログには過去の展示の実例も掲載し、利用の目安にさせていただくよう工夫を行っている。当館は美術作品の鑑賞、発表等の場の提供を設置目的としており、貸しギャラリー利用規約に「販売やその促進を目的とした展示」は不可としているため、一般企業に対しては積極的なPRを行っているわけではない。 【別添資料】貸しギャラリーのご案内(リーフレット)
3	入場者数を増やすためにどのようなことを行っているのか。スマートフォンやSNS等を活用した広報は考えているか。	資料	【別添資料】 広報(情報発信)媒体について(アート-13~14) webキャプチャ画面(アート-15~17)
4	予算が2事業に分かれている理由を市民目線で説明してほしい。	説明	企画関係費は、学芸員職2名が主担当とする自主企画による企画展及び企画展関連イベントの事業を特出したものであり、事業運営費については、専門員及び専門補助員が主担当とする共催事業と貸館事業に関わるものである。共催事業と貸館事業については、事業執行上、職員(学芸員職)の裁量により事業展開が可能となるものではないことから、予算について2本に分けている。

■H29年度 ギャラリー稼働率

	(A-B)		(C-D)			稼働率 (E/C)
	年間日数(A)	休館(B)	開館(C)	未利用(D)	稼働日(E)	
展示室A	365	57	308	9	299	97.1%
展示室B	365	57	308	21	287	93.2%
スタジオ	365	57	308	23	285	92.5%
					3室合計	94.3%

広報(情報発信)媒体について

管理・運営しているもの		
種別	名称	概要/目的
印刷物	アトリアニュース	隔月刊(奇数月1日)発行 その2ヶ月間で実施する事業を網羅 またスタッフコラム、イベントレポートなど アトリアwebでも閲覧可能
	チラシ	事業ごとに発行 一部はアトリアwebでも閲覧可能
	ポスター	事業ごとに発行
	広報かわぐち(市報)	毎月発行(広報課) 「施設情報」のページに常に掲載、月ごとの事業を網羅
web	公式webサイト 「アトリアweb」	基本情報・最新情報を発信するとともに、過去の記録をアーカイブ スタッフブログ、facebookページと連動 http://www.atlia.jp/
	ブログ 「スタッフブログ」	開催事業のレポートの公開。文章重視。 Facebookと連携、よりくわしいイベント情報の紹介・発信 追加募集情報の速報 企画展裏話(スタッフの視点) など https://atlia.exblog.jp/
	facebookページ	速報およびリピーター向け情報。画像重視。 ブログやwebサイトの更新情報を発信。 市広報サイト(1110.com、きゅぼらんtweeterなど)から関連情報をシェア
	川口市ホームページ、市広報サイト	川口市ホームページの施設ページ、また新着情報への掲載 また1110.com(広報課)などへの情報提供
	きらり川口 情報メール	市全体で運用しているメールマガジン(情報政策課) 主に企画展会期中に開催情報を登録者へ配信

外部に掲載を依頼するもの		
種別	名称	概要/目的
印刷物	プレスリリース (郵送)	主に自主企画展の内容を先行して報道機関に伝えるもの。文章重視。 テレビ・ラジオ・出版社(主に美術系・カルチャー誌)、新聞社など。 29年度の実績: 全国テレビ(NHK日常美術館アートシーン)、地方テレビ・ラジオ(テレビ埼玉、NHKさいたま、Jcom川口戸田)、雑誌(美術手帖、FIGARO、地域創造など)、タウン誌・フリーペーパー(ばど、など)、新聞・折込(読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、サンケイリビング新聞、JapanTimes、埼玉新聞など)
	記者クラブへの 情報提供	広報課を経由し、市の記者クラブへ情報提供するもの。 主に全国新聞地方版への掲載。

web	プレスリリース (メール)	<p>主に自主企画展の内容を先行して報道機関に伝えるもの。画像重視。テレビ・ラジオ・出版社(主に美術系・カルチャー誌)、新聞社に加え、アート系webサイトやおでかけ情報まとめサイト・アプリなど。</p> <p>29年度実績: 地方ラジオ(FM Kawaguchi)、アート系情報サイト(TokyoArtBeat、ぶらり美術館、ARTiT、ネットTAM、artscape、アーティストナビ、など)、新聞社web限定サイト(サンケイリビングネット、マイシティじゃ〜なる、など)、出版社webサイト(web版美術手帖、など)、おでかけ情報サイト(いこーよ!、まぐまぐ、など)</p>
	情報掲示板等への登録	<p>自ら情報を掲示板等に投稿できる機能を持つサイトの利用</p> <p>登録サイト: Saitama ARTGUIDE+100 α、OCNアートジェーン、TokyoArtNavigation、Japan Design Net、チランミュージアム、など</p>

公式フェイスブックページ

ATLIA Kawaguchi Art Gallery

川口市立アートギャラリー・アトリア
開館時間：10:00-18:00（企業展覧会中は変更あり）休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始・施設整備期間

Googleカスタム検索

インフォメーション | 展覧会 | ワークショップ・講座 | 貸しギャラリー | スケジュール | 本・カタログ

共催展のご案内

6月20日(水)～7月1日(日)
第13回 川口市美術協会選抜展

7月4日(水)～8日(日)
川口市小・中・高校硬筆展覧会

新着ニュース NEWS

2018.5.30 スタッフBLOG更新！ イベント「水鏡ポトレート撮影会～夏川の水を借りて～」を開催しました

2018.5.17 スタッフBLOG更新！ ワークショップ「一緒につくろう！夏祭りの「カタチ」」を開催しました

2018.5.11 スタッフBLOG更新！ 「地域のなかのアートな芸術祭」後編もオープン！

2018.4.25 スタッフBLOG更新！ ワークショップ「おぼんたいに広がる、いろいろな世界」を開催しました

2018.4.15 スタッフBLOG更新！ 「地域のなかのアートな芸術祭」オープン！

川口市立アートギャラリー・アトリア

このページに「いいね！」が18件、「いいね！」の数

川口市立アートギャラリー・アトリア

2018.06.23【夏の企画展情報】
夏の企画展（新鋭作家展 第7回優秀者 力石雄・津田雄志「見しらぬ故郷／なじみの果樹」）、フライヤーが完成！近隣を中心にアート展係 保藤さん親子と協力し、アトリオホールの中心に展示がはじけ

トップページ | 貸しギャラリー | サポートスタッフ | 川口市立アートギャラリー・アトリア
〒332-0033 埼玉県川口市本元町1-75
TEL:048-253-0222

公式 web サイト
「アトリア web」
トップページ

公式フェイスブックページ

ATLIA Kawaguchi Art Gallery

川口市立アートギャラリー・アトリア
開館時間：10:00-18:00（企業展覧会中は変更あり）休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）・年末年始・施設整備期間

Googleカスタム検索

インフォメーション | 展覧会 | ワークショップ・講座 | 貸しギャラリー | スケジュール | 本・カタログ

スケジュール

06 JUNE

07 JULY

今日の展覧が掲載されているアトリア・ニュースを開
覧・ダウンロードすることができます。(pdf)
過去の展示・ワークショップの記録は、各年度の年間
報告書（アニュアル）をご参照ください。

● 今月のアトリア・ニュースを見る

● 今年度の年間スケジュールを見る

● 年間報告書ダウンロードページ

川口市立アートギャラリー・アトリア
〒332-0033 埼玉県川口市本元町1-75
TEL:048-253-0222

スケジュールページ



川口市立アートギャラリー・アトリア
Facebookページの@ユーザーネームを作成

- ホーム
ページ情報
写真
イベント
レビュー
動画
投稿
コミュニティ
広告を出す
広告を管理



いいね! フォローする シェア ... + ボタンを追加

川口市立アートギャラリー・アトリア
作成者: アトリア アトリア 15分前
2018/06/23 【夏の企画展情報】
夏の企画展《新鋭作家展 第7回優秀者 カ石咲・津田隆志「見しらぬ故郷／なじみの異郷」》、フライヤーが完成！近隣を中心にアート関係施設や図書館などに配布をお願いしておりますので、お見かけの方はぜひお手にとってくださいませ！ (M.A)
http://atlia.jp/exhibition/
《新鋭作家展 第7回優秀者 カ石咲・津田隆志「見しらぬ故郷／なじみの異郷」》... もっと見る

見しらぬ故郷／なじみの異郷
新鋭作家展
カ石咲 津田隆志
8月14日(土)～9月2日(日)
川口市立アートギャラリー・アトリア

アートギャラリー：埼玉県 川口市
4.1
いいね! 918件 今週の0件
フォロワー 925人
ページフィードを見る
ページとして「いいね!」したページ投稿
チェックイン 865人 今週の+1件
今週の投稿のリーチ: 386人
918人が「いいね!」して、925人がフォロー中です
コミュニティ
すべて見る
918人が「いいね!」しました
925人がフォローしています
ページのコミュニティを作る: グループの作成とリンク

基本データ
すべて見る
332-0033 埼玉県 川口市
並木元町1-76
電話番号を表示
048-263-0222
http://www.atlia...
ウェブサイトを表示
アートギャラリー：教育
編集を提案

川口市立アートギャラリー・アトリア
作成者: アトリア アトリア 8月19日 13:14
2018/06/19 【共催展のお知らせ】
6月中旬～7月初旬にかけて、地域と連携した共催の展覧会が続きます。それぞれ会期が短めですのでどうぞお見逃しなく & お間違いないで！ (M.A)
http://www.atlia.jp/exhibition/
6/20 (水)～7/1 (日) (川口市美術家協会選抜展) ... もっと見る



330人にリーチしました
投稿を宣伝
いいね! コメントする シェアする

ATLIA STAFF BLOG



ブログ
「アトリア
スタッフブログ」

ブログトップ | ログイン



ATLIA STAFF BLOG

川口市立アートギャラリー・アトリアスタッフのブログ

イベント「水鏡ポートレート撮影会—芝川の水を使って」を開催しました

5月26日(土)・27日(日)、夏の企画展「第7回新鶴作家展」の事前イベントとして、「水鏡ポートレート撮影会—芝川の水を使って」を開催しました。

まずは、撮影会場の準備です。
芝川の水を実際に入れた大きな容器を設置。
その前に照明やカメラの機材を並べ、即席の水鏡撮影スタジオをつくります。
そこで、展覧会出品アーティストの写真家の津田さんが、
水面に映るみなさんの姿を撮影し、一味違ったポートレートに仕上げます。

会場は撮影のために、少し薄暗く静かな雰囲気。
お客様第一号は、緊張の面持ちです。



「線のところに立って、水を少しのぞきこんでください」
津田さんが、カメラをのぞきながら指示をだします。
水面に向けてカメラをカシャ。
参加者は水をそっとのぞきこみますが、何も見えません。



時々、津田さんが水に石を投げ入れ水面を揺らしながら撮影はすすみます。

みなさまへお願い

このブログに掲載されている写真・画像・イラストを無断で使用することを禁じます。

カテゴリ

- 全体
- お知らせ
- 企画展
- ワークショップ
- アートさんぽ
- 芸術講座・実技講座
- 学校×アトリア
- サポートスタッフ
- 共催展
- スタッフのつれづれ
- 2017年度
- 2016年度
- 2015年度
- 2014年度以前
- 未分類

以前の記事

- 2018年 05月
- 2018年 04月
- 2018年 01月
- 2017年 12月
- 2017年 11月
- 2017年 10月
- 2017年 09月
- 2017年 07月
- 2017年 06月
- 2017年 05月
- more...

検索

ファン

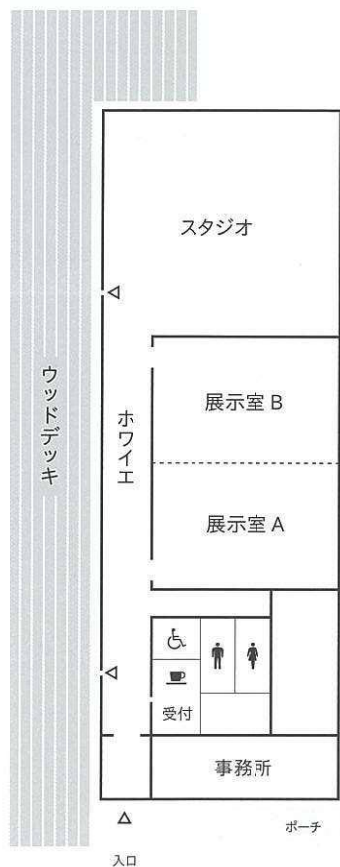
記事ランキング

**実技講座「布表紙で
つくる上製本ノー
ト」を開催しました**
1月26日(日)、た
のし...

**イベント「水鏡ポ
ートレート撮影会—芝
川の水を使って」を
開催しました**
5月26日(土)・2
7...

**〈地域のなかのア
ートな居場所〉後期展
オープニング!**
企画展「地域のなか
のアー...

■ 施設について



展示室

作品を展示するための空間。
天井高5mの広がりがあり、照明・ピクチャーレール等を完備
しています。(展示室A・B 各77.5㎡)

スタジオ

公園に面した解放感あふれる空間で、展示のほかワークショッ
プや講座など創作体験に活用されています。(195㎡)

その他

入口付近には、美術雑誌・絵本などを読みながら
くつろいでいただけるミニライブラリーもございます。

全館バリアフリー / 多目的トイレ完備 / 身障者用駐車場有り / 生活介助犬同伴可



川口市立アートギャラリー・アトリアは、平成18年度(2006年)
にオープンした市立のアート施設です。現代アートの展覧会や
地域に根差した事業を展開し、多様な価値観を共有する場を
目指しています。

利用案内

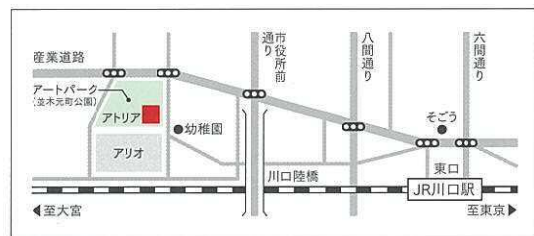
開館時間 10:00~18:00 企画展開催中の土曜日は20:00まで開館する場合あり
観覧料 展覧会によって異なる
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌平日)
年末年始(2018年12月29日~2019年1月3日)・施設整備期間
アクセス JR川口駅東口より徒歩約8分

ATLIA, Kawaguchi Art Gallery is the city-run art gallery opened in
2006. The aim is to provide the opportunity to share diverse
values through the exhibitions of contemporary art and projects
rooted in the local community.

Visit

Gallery hours: 10:00-18:00 Tuesday through Sunday,
Opens until 20:00 on some Saturdays.
Closed on Mondays
When Monday falls on national holiday,
it closes on the following day.
Gallery to close during new-year holidays
(Dec.29, 2018-Jan.3rd, 2019)
and the period of gallery maintenance.
Admission: Varies by exhibitions.
(Please feel free to inquire for the details.)
Getting here: 8-minute walk from east exit of JR Kawaguchi station

ATLIA, Kawaguchi Art Gallery
1-76 Namikimotomachi Kawaguchi-city, Seitama, Japan 332-0033
TEL 048-253-0222 FAX 048-240-0525 URL <http://www.atlia.jp/>



川口市立アートギャラリー・アトリア

〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76
TEL 048-253-0222 FAX 048-240-0525 URL <http://www.atlia.jp/>

ATLIA

SCHEDULE

2018.4 → 2019.2

川口市立アートギャラリー・アトリア

平成30年度スケジュール

■ 事業について

企画展

現代アートをはじめ、地域に根差した展覧会を開催。
また新鋭作家のための公募展や参加型の企画も行っていきます。

ワークショップ・アートさんぽ・講座

アートの視点を体験する「ワークショップ」や「アートさんぽ」、
知識や技術を深める「実技講座」「鑑賞講座」を開催しています。

学校との連携

教育現場との連携を図りながら「アーティスト・イン・スクール」
事業を展開。学校向けの出張トークなども行っていきます。

地域との連携

地域のアートスポットや市民のアート活動の情報発信に協力す
るほか、地域との連携企画なども行っていきます。

サポートスタッフ登録制度

ワークショップなどに協力するサポートスタッフ(ボランティア)
が活動しています。登録は1年ごとに行っています。

貸しギャラリー

アート活動や作品発表の場としてご利用いただくために、展示
室・スタジオの貸出しを行っています。
利用申込・使用料についてはホームページをご覧ください。



■ 企画展

地域のなかのアートな居場所

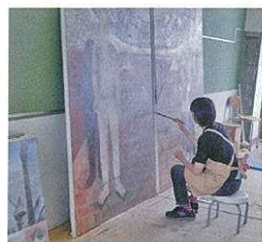
—Aplus×ATLIA

第1期：2018年 4月7日(土)～4月30日(月・祝)

第2期：2018年 5月2日(水)～5月20日(日)

旧川口市立芝園中学校の校舎をアトリエとして再活用している「アプリュス」の活動を紹介しますとともに、入居しているアーティストの作品を展示します。

出品作家：一般社団法人アプリュス
スタジオ利用アーティスト／協力アーティスト



芝園スタジオの様子



第7回 新鋭作家展

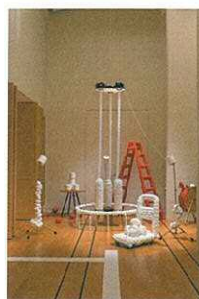
優秀者 力石咲、津田隆志

2018年 7月14日(土)～9月2日(日)

文化芸術の振興と新鋭作家の発掘・育成を目的とした公募展。第7回優秀者の2名が、多くの方々や川口の歴史、産業、場所などと関わりながら多様な活動を展開します。



津田隆志 《mirror/river》2017年



力石咲 《ニット・インベーター in ICC: addi UFO》2014年
撮影：刀塚浩介

公募・第8回新鋭作家展 二次審査の作品公開

第8回公募の一次審査通過者が二次審査のために制作した作品を公開します。
2018年9月8日(土)～9月24日(月・祝)

■ 学校連携事業 ■

第13回 アーティスト・イン・スクール

講師個展：2018年 10月27日(土)～12月9日(日)

児童発表：2018年 11月10日(土)～12月9日(日)

浅見貴子(画家) × 川口市立芝樋ノ爪小学校

アーティストが講師となり学校で授業を行うプログラム。9～10月にかけて授業を行い、その取り組みと成果を当館で紹介いたします。また講師の作品も先行して公開。学校と美術施設そしてアーティストとの実験的試みです。



昨年度の様子



浅見貴子 《蘇芳》2016年

アートな年賀状展

2019年 1月8日(火)～1月20日(日)

送っていただいた手づくりの年賀状を一堂に展示する参加型の展覧会。お正月や縁起物などをテーマにしたイベントも行い、新年を寿ぎます。



出品(年賀状)受付

2018年12月1日(土)～2019年1月3日(木)

※窓口での受付は2018年12月28日(金)まで



昨年度の様子

■ 共催展

第13回 川口市美術家協会選抜展
2018年 6月20日(水)～7月1日(日)

川口市小・中・高校硬筆展覧会
2018年 7月4日(水)～7月8日(日)

第27回水道ポスターコンクール
2018年 9月12日(水)～9月17日(月・祝)

特別支援学級合同作品展
2018年 12月12日(水)～12月16日(日)

中学生のART CLUB展
2019年 1月27日(日)～2月3日(日)

川口市小・中・高校書きぞめ展覧会
2019年 2月6日(水)～2月11日(月・祝)

川口の図工美術まなび展
2019年 2月16日(土)～2月24日(日)

■ ワークショップ

春の企画展関連
— 2018年4月22日、5月12日

〈新鋭作家展〉関連
— 2018年5月26日、27日、6月3日

クリスマス・ワークショップウィーク
— 2018年12月22日、24日

〈アートな年賀状展〉関連
— 2019年1月12日



■ アートさんぽ

鋳物のまちを歩く
— 2018年9月22日



■ やさしい鑑賞講座

焼き物の世界
— 2018年9月23日



この他、企画展関連中には鑑賞プログラム「アートウォッチング」等を開催予定です。

■ たのしい実技講座

版表現入門
— 2018年10月20日、21日

〈アートな年賀状展〉関連
— 2019年1月19日



■ 貸しギャラリー展示期間

2018年の下記の期間は一般のお客様の展示を予定しています。

5月22日(火)～5月27日(日)	9月26日(水)～9月30日(日)
5月29日(火)～6月3日(日)	10月2日(火)～10月8日(月・祝)
6月5日(火)～6月10日(日)	10月10日(水)～10月14日(日)
6月12日(火)～6月17日(日)	

■ サポートスタッフ募集期間

2018年 4月1日(日)～5月31日(木)

電話にて受付します。

詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。

公式ホームページやブログ、フェイスブックに最新情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

※事業の内容・日程等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

平成30年度中受付を行う貸出期間

貸出期間		申込 期間
展示室A・B	スタジオ	
2019年 5月21日(火)～26日(日) 6日間		①
2019年 5月28日(火)～6月2日(日) 6日間		
2019年 6月4日(火)～9日(日) 6日間	—	
2019年 6月11日(火)～16日(日) 6日間	—	
2019年 9月25日(水)～29日(日) 5日間		
2019年 10月1日(火)～6日(日) 6日間		
2019年 10月8日(火)～14日(月・祝) 7日間		

※展示室は1週間単位、スタジオは1日単位でお貸出ししています。

申込期間

- ① 2018年6月1日(金)～30日(土) ※抽選予定 7月8日(日)
- ② 2018年9月1日(土)～30日(日) ※抽選予定 10月7日(日)

※申込期間中に応募がなかった場合は先着順にて追加募集を行います。当館のホームページ「貸しギャラリー」に詳細を掲載します。また、電話・窓口でのお問い合わせも承ります。



利用案内

開館時間 10:00～18:00 (入館は閉館の30分前まで)
 休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合はその翌平日)
 カフェ 10:00～18:00 (土・日・祝)
 ※カフェの定休日: 休館日、その他臨時休業の場合あり

アクセス

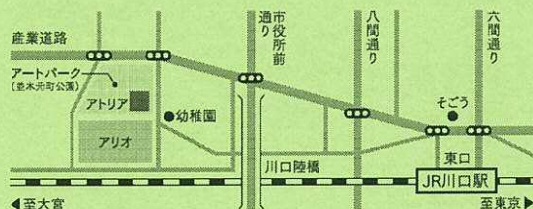
JR京浜東北線・川口駅東口より徒歩約8分
 駐車場はありません。ただし、搬入出時用の一時駐車スペースおよび身体障害者用の専用駐車場がございます。

川口市立アートギャラリー・アトリア

<http://www.atlia.jp/>

〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76

TEL: 048-253-0222 FAX: 048-240-0525



ATLIA

貸しギャラリーの ご案内

アトリアでは市民のみなさまをはじめとした一般の方々に、アート活動・作品の発表の場として館内の展示室やスタジオをお貸出ししています。

利用規約

アート作品(絵画・彫刻・工芸・写真・書・インスタレーションなど)の展示であること。
ワークショップ・講演会・公開制作なども可。
ただし、内容が文化・芸術の範囲であること。

次の場合は施設の利用を不可とする

1. 施設の管理・運営に問題を生じる展示
(例:火気や悪臭、食品や植物など腐敗するもの)
2. 公序良俗に反する内容の展示
3. 販売やその促進を目的とした展示
(展示において図録、絵ハガキなどの関連物販売等は事前に施設の承認を得ること)
4. 利用承認を得たものが転貸すること

展示について

- ・ 展示に必要な消耗品や道具の貸出しは行っておりませんので、利用者本人がご用意ください。(貸出備品に關しましては下記「貸出し備品について」をご覧ください。)
- ・ 平面作品を壁に展示する場合は、釘またはワイヤーをご利用ください。釘の大きさは一寸釘(32mm/N32)程度とします。
- ・ 耐荷重は床1㎡あたり300kgまで、壁面1㎡あたり100kgまでです。
- ・ 展示室・スタジオの壁面や設備に支障をきたす行為(インキや墨などの使用、穴をあける、強力な粘着物を貼るなど)はしないでください。粘着力の強いテープとは、ガムテープ、両面テープ、セロテープなどを指しており、壁面に影響のないテープ(マスキングテープ、養生テープなど)は一部使用ができますのでご確認ください。
- ・ キャプション等の掲示は、画鋸・虫ピンまたはソフト粘着剤(ブルタック・ひっつき虫)を使用してください。
- ・ 照明の調整が必要な場合は、当館職員が行います。

⇒詳細は別紙「貸しギャラリー利用規約」でご確認ください。

申込みの流れ

① 利用期日を確認

施設の利用につきましては利用期日の1年前から応募を受け付けています。またその際応募がなかったものに関しては、先着順にて申込みを受け付けます。

※平成25年4月より募集時期が6ヶ月前から1年前へと変更になりました。

② 利用申込書を提出(窓口への持参・郵送可)

「利用申込書」と「展示のイメージ(A4・5枚以内/形式自由)」を提出してください。別紙「貸しギャラリー利用規約」をお読みいただき同意のうえお申込みください。

「利用申込書」は公式ホームページ(<http://www.atlia.jp/rental/>)からダウンロードできます(窓口でも配布)。郵送の場合は申込期限日必着。

③ 利用の決定

申込み多数の場合は、公開抽選にて利用者を決定します。尚、公開抽選は申込期限の翌月(原則第1日曜日)に館内で行います。

④ 利用許可手続きと利用料支払い

利用が決定したら、1ヶ月以内に利用料をお支払いください。これをもって申込手続きが完了となります。尚、利用取り消しの場合はキャンセル料が発生します。

貸出備品について

備品の貸出しについては、申込みの際「利用申込書」にできるだけ詳しく希望を記入してください。ただし、他の利用者の使用状況によっては意図に添えない場合がございます。(利用料:無料)

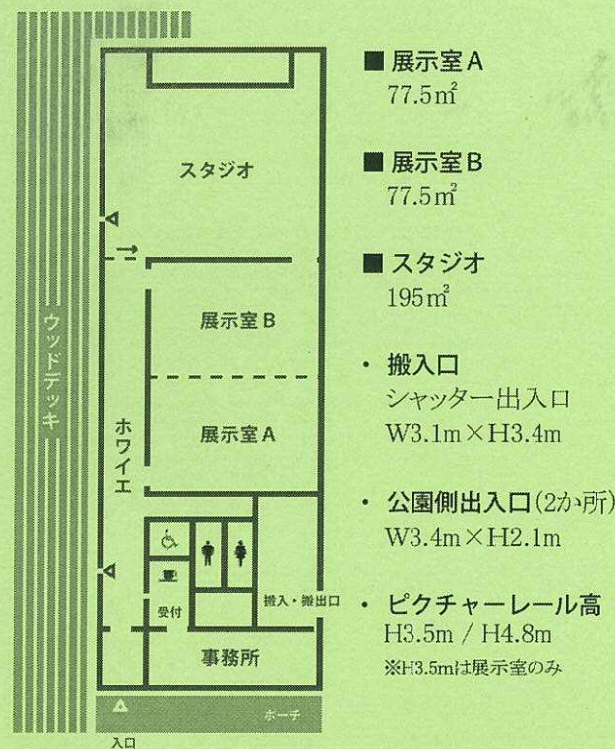
台座 単位:mm

H1000×W600×D400(5台)白 / H850×W600×D500(4台)白

H300×W900×D700(5台)白 / H960×W500×D500(16台)黒

その他、長机(会議用テーブル)、パイプ椅子、イーゼル、脚立、台車などの用意がございます。

フロアマップ



利用金額

	市内在住・在勤 在学の方 ※1	左記以外の方 ※2
展示室A・B	各10,280円 (1日あたり)	各15,400円 (1日あたり)
スタジオ	20,500円 (1日あたり)	30,800円 (1日あたり)

※1 グループでの利用については、その事務所が市内にある場合又は出品者の過半数が市内に在住(在勤・在学)している場合に市内在住者額とします。

※2 展示室利用は1週間単位、スタジオ利用は1日単位からお貸出ししています。

※ 300円を超える「入場料」等を徴収する場合は(その徴収金額や入場者数に関わらず)所定の利用料の1.5倍の利用料をお支払いいただきます。

第7回新鋭作家展

見しらぬ故郷 / なじみの異郷

担当者イチオン

ありふれたもののなかにも
素敵な「気づき」がある、
そのきっかけをもたらしてくれる
展覧会です。



T.M

〈新鋭作家展〉は文化芸術の振興と新鋭作家の発掘・育成を目的とした公募展です。本展の出品アーティストはポートフォリオ・書類審査、プレゼンテーション(展示)、口頭審査によって選出されました。作品発表にとどまらず、地域に関連した幅広い展開をめざし、リサーチや市民参加イベントなどを行いながら1年がかりで実施されるプロジェクトです。第7回の優秀者に選ばれた二人のアーティストは川口市にはゆかりがありませんでしたが、そこがなじみの土地と思えるくらいにリサーチを重ねてきました。展覧会では、調査でみてきた人々の生活や都市ならではの環境を捉えて作品の素材にしつつ、それぞれの視点で少しだけ手を加えることで、知っているはずの場所や日常のなかにも初めて触れるものがあり、今まで見えなかったことが見えてくる、そんな可能性を引き出す作品を展開します。



2018年
7月14日(土)～9月2日(日)

開催時間 10:00～18:00 (土曜日のみ20:00まで)
休館日/月曜日(ただし7月16日(月)は開館、翌17日(火)休館)
観覧料/300円(会期中何度でも入場いただけるパスポート制)、高校生以下無料
※65歳以上の方・20名以上の団体・障害者手帳をお持ちの方と付添1名は半額

◎出品作家プロフィール

ちからいし きき
カ石 咲

1982年埼玉県生まれ。ニットによる編みくるみの手法で、非日常的な空間を出現させるプロジェクト型の活動をしている。川口では、歴史、文化、産業などをリサーチして見出した「川口らしいもの」を編みくるみ配置することで、見る者の意識やコミュニケーションの活性化を図る作品を制作。

つだ たかし
津田隆志

1983年愛知県生まれ。写真を主な表現手段としながら、フィールドワークにより既成概念にとらわれず自分なりに世界を読み解いていく制作を行う。川口では市内を流れる旧芝川を取材し、水面に映る都市風景の写真に加え、取材中の体験や時間を取り込んだ作品を展開。

写真上:カ石 咲(ニット・インベーター in 常陸多賀・addi UFO) 2016年 撮影:木奥恵三
©KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭
写真下:津田隆志(mirror/river_旧芝川) 2017年
※ 作品図版はすべて参考です。展覧会に出品されない場合があります。

関連イベント

夏の企画展
関連

あなたもニットインベーターに?

さまざまなものを毛糸で編みくるんで心に温かさをもたらす、それが「ニットインベーター」。あなたもその一味になって、会場にある「川口らしいもの」を毛糸でくるんでみませんか。編み物のイベントではないので、編み物の経験がない人も大歓迎です。

日時/7月12日(木) 10:00～17:00(時間内で随時ご参加いただけます)
講師/カ石 咲 対象/中学生以上(18歳未満は保護者の同意が必要)
参加費/無料 申込/事前申込不要

参加型公開制作 — ニットインベーター活動中!

出品作家 カ石 咲が展覧会中も「ニットインベーター」として会場内のさまざまなものを編みくるんでいきます。時間内にお越しいただくと、一緒に編みくるみを体験できます。こちらも編み物をしたことがない人、大歓迎。

日時/7月14日(土)、29日(日)、8月11日(土・祝)
各日10:00～12:00、13:00～17:30(時間内に随時ご参加いただけます)
作家/カ石 咲 対象/どなたでも(小学2年生以下の場合は保護者同伴)
参加費/無料(観覧料別途) 申込/事前申込不要

ギャラリートーク

企画意図や出品作品などについて、出品アーティストとのこの1年間の取り組みを含めて、展覧会担当者が分かりやすく解説します。

日時/7月21日(土)、8月19日(日) 各日14:00～15:00
案内/アトリアスタッフ
対象/どなたでも(主におとな向け)
参加費/無料(観覧料別途) 申込/事前申込不要

アーティストトーク

出品アーティストが、過去の制作活動を踏まえ、本展の出品作品とそれができるまでの過程を中心にお話します。

日時/9月2日(日) 14:00～15:30
講師/カ石 咲、津田隆志
対象/どなたでも(主におとな向け)
参加費/無料(観覧料別途) 申込/事前申込不要

夏休みの宿題応援トーク

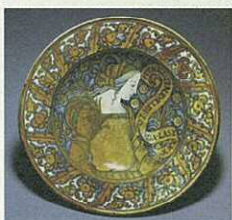
展覧会についてのお話だけでなく、宿題に役立つ情報をお教えるなど、夏休みのレポートや自由研究対策におすすめです。

日時/7月26日(木)、8月25日(土) 各日14:00～15:00
案内/アトリアスタッフ
対象/主に小中学生(高校生以上の方もご参加いただけます)
参加費/無料(18歳以上は観覧料別途)
申込/事前申込不要

第8回新鋭作家展 二次審査プレゼンテーション展示

2018年9月8日(土)～24日(月・祝)
第8回公募の一次審査通過者が二次審査のために制作した展示を公開します。

やさしい鑑賞講座



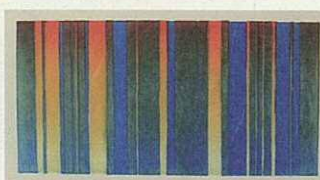
イタリア マヨリカ陶器の皿
(フィッツウィリアム博物館)

名品でたどるヨーロッパのやきもの

ヨーロッパには東洋とは異なった美意識によるやきものの伝統があります。独自の発達を遂げたルネサンスの頃からマイセンやセーヴル、ウェジウッドの登場する時代まで、主だった国々の特徴的な優品をスライドで紹介しながら、西洋陶磁の歴史と見どころをお話します。

日時/9月22日(土)
14:00～16:00
講師/大平雅巳(西洋陶磁史家)
対象/18歳以上
定員/40名
参加費/300円
申込/事前申込不要

たのしい実技講座



参考作品

摺り重ねる木版画

木版画の「摺り」に着目し、その技法の幅や奥深さを体験する講座です。ストライプ模様の版木1枚を使い、摺り重ねの工夫によって現れる色彩の変化やしっとりとした風合いを楽しめます。

日時/9月23日(日)・24日(月・祝)
※両日参加 各日13:30～16:30
講師/岩佐 徹(版画家)
対象/18歳以上
定員/12名 参加費/1000円
申込締切/9月5日(水) 必着
申込方法/事前申込(下記参照)

事前 申込方法

右記の①～⑤を、
はがき・FAX・メール
(summer2018@atlia.jp)
のいずれかにてお送りください。
応募者多数の場合は
抽選とし、締切日から一週
間ほど後、通知はがきを発
送いたします。

- ① 希望のイベント名
- ② 参加者全員のお名前(ふりがな)
- ③ 年齢
- ④ 郵便番号・住所
(集合住宅にお住まいの場合は建物名も)
- ⑤ 電話番号(緊急の際に連絡がとれるもの)

ご応募・ご参加に際しては、以下の点をお守りください。
違反された場合、お申込みをお断りする場合がございます。

- ※1回の応募で、複数のイベントは申込みできません。
(1つのイベントにお1人で複数のお申込みもお断りしています。)
- ※同一のイベントをご希望の家族(住所を同一にしている)に限り、1通の申込みに併記可能です。その際は対象年齢にご注意ください。
- ※参加希望者全員の名前をご記入ください。
- ※メールアドレスはイベント申込みにのみ有効です。
内容・受付に関するお問い合わせは電話・窓口で承ります。

申込締切日

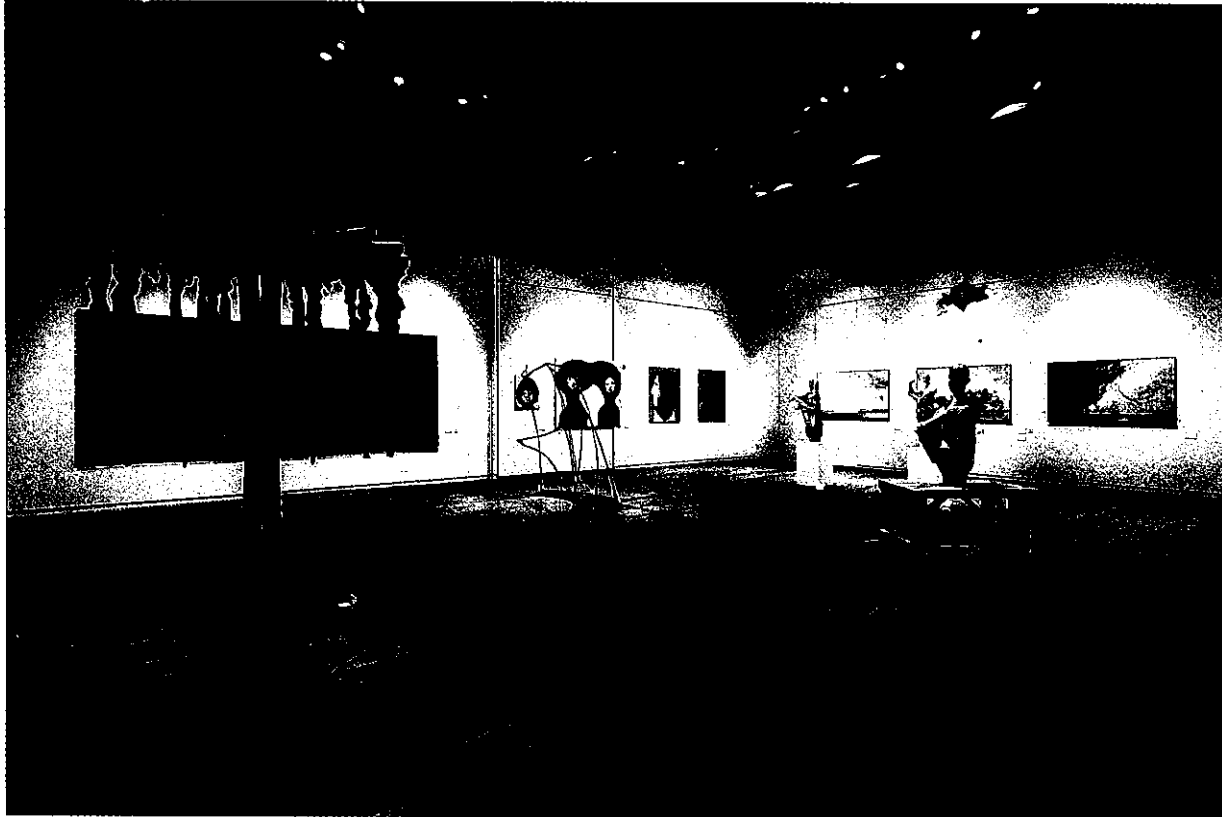
各欄を参照 ※必着

申込先
〒332-0033
埼玉県川口市並木元町1-76
川口市立アートギャラリー・
アトリア「イベント」係
FAX: 048-240-0525
Mail: summer2018@atlia.jp

みなさま夏休みのご予定はお決まりですか？数珠つなぎの観光地に行くもよし、アトリアでアート鑑賞するもよし。暑い夏を楽しみましょう（熱中症にはお気をつけください）。

コラム Pick Up!

〈地域のなかのアートな居場所 Aplus×ATLIA〉が終了しました



4月7日(土)～5月20日(日)、春の企画展〈地域のなかのアートな居場所 Aplus×ATLIA〉を開催しました。閉校した川口市立芝園中学校の校舎をつかったアーティストの制作スペース「アプリアス芝園スタジオ」を利用しているアーティストの作品を中心に紹介したこの展覧会。4月を前期、5月を後期として作品を入れ替え、合計69点が並んだ、にぎやかな展示となりました。

前期・後期それぞれのオープニングにあわせて行った公開制作、また、同じ会期中2回行われたワークショップの成果物も展示に加わり、展覧会に「作品づくり」でかかわるまたとない機会を味わっていただきました。

またクロージングではトーク&スタジオツアーを開催。ゲストに池田修さん

春のはじまりにふさわしい、
にぎやかな展覧会

(BankART 1929ディレクター)・土屋貴哉さん(現代美術家/芝園中学校卒業生)も交え、アプリアス芝園スタジオの活動を振り返るだけでなく、現地に見学にいきました。アーティストと参加者と直接的な交流もあり、スタジオの空気を肌で感じていただける機会となりました。

簡単な感想や意見を書いたカードを掲示板に貼っていく鑑賞促進ツール「アートウォッチング」では、出品作それぞれにあたたかいメッセージが寄せられ、たくさんのカードに興味深く読む鑑賞者の姿も見受けられました。多くの方に地域のなかでのアーティスト活動をご覧いただき、身近に感じていただけたならば幸いです。

この企画展の記録集は7月末発行予定。館内で順次配布いたしますので、どうぞお楽しみに。



写真上：前期展示の様子 ©Mizuki Osada
写真中：アートウォッチングカード&ボード
写真下：トーク&スタジオツアーの様子

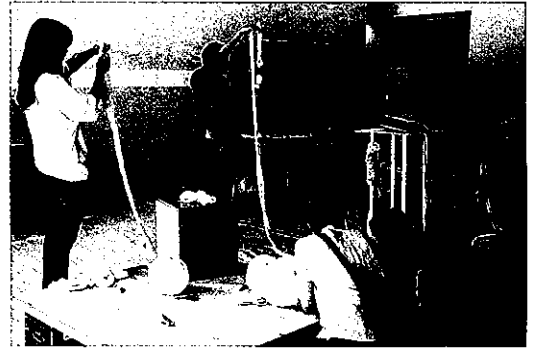
ワークショップ記

新鋭作家展関連イベント あなたの「川口」を編みくるもう！を開催しました

第7回新鋭作家展(見しらぬ故郷/なじみの異郷)の出品作家、カ石咲の制作の一端を体験し、展示に参加できるイベントを6月3日に実施しました。講師のカ石さん、展覧会では自らリサーチして見出した「川口らしいもの」をアトリアに集め、毛糸の紐で編みくるんだ作品を発表します。今回の参加者にも「川口らしいと思うもの」を持ってきてください、という宿題(?)が出されていました。

当日は、講師の川口での活動紹介に続き、各自が持ってきた「川口らしいもの」を説明しました。私と「もの」と川口の物語を生かしてどんな風に編みくるむか、難しいところですが、しかし毛糸の紐を手で編む方法を教わり、実際に手を動かして始めるとどんどんアイデアが出るのか、参加者は独自の編みくるみ方を試みていました。最後には講師の想定をはるかにこえるバラエティ豊かな「編みくるまれた川口」ができ上がり、それらを皆で発表してイベントは終了。自分と土地とのかかわりが思わぬ方法で形となることを体験しました。

なお、今回編みくるまれたものは、今夏の第7回新鋭作家展にて、カ石咲のインスタレーションの一部として展示されます。



スタッフ Recommend チケット(観覧券)でお得情報! アトリア×プラシャルコラボ



みなさま、アトリア館内にカフェ「プラシャルルルー」があるのはご存知でしょうか？
現在カフェは土・日・祝日の営業ですが、シェフ手作りの焼き菓子や生菓子(タルト・プリン・etc.)、各種ドリンクに加えて期間限定で「かき氷」まで取り揃えます。この「かき氷」のシロップが自家製で暑い日は大人気。

さて、本報のお得情報です。アトリア店営業日限定ですが、夏の企画展(7/14～9/2)のチケット(観覧券)をカフェでご提示いただくとドリンク類の一部商品に対して一回限り割引サービスが受けられます。

展覧会をご覧いただいた後、ドリンクと一緒にケーキを食べながら一休みされてはいかがでしょうか。みなさまのご利用をお待ちしております。(お断り…広報かわぐちやチラシ等の提示による割引サービスは受けられません。また、事前の予告なしに割引サービスの終了や対象商品の変更、臨時休業する場合があります。)

貸しギャラリー

市民のみなさまをはじめとした一般の方々に、アート活動・作品の発表の場として館内の展示室やスタジオを貸し出しています。

利用のご案内(利用申込について)

貸出期間については下記のとおりです。申込みは、利用期日の1年前から受付しています。専用の「貸しギャラリー申込書」に必要事項を記入のうえアトリアへ持参してください。郵送・FAXでも受付しています。

申込書は、公式ホームページの「貸しギャラリー」のページからダウンロードできます。

<http://www.atlia.jp/>

※申込み多数の場合は公開抽選にて決定します。尚、公開抽選は申込期間の翌月(原則第1日曜日)当館で行います。

2019年7・8月貸出期間

展示室A	展示室B	スタジオ
募集はありません		

※上記期間以外の募集状況はホームページでご確認ください。

2018年7・8月展示のご案内

展覧会名	開催日時
展示はありません	

(利用料金)

	市内在住・在勤・在学の方	左記以外の方
展示室A・B (各77.5㎡)	各10,280円(1日あたり)	各15,400円(1日あたり)
スタジオ (195㎡)	20,500円(1日あたり)	30,800円(1日あたり)

※展示室利用は1週間単位、スタジオは1日単位で貸し出しています。

休館日のお知らせ

■…休館日 □…展示入替

7月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

図録の注文承ります!

過去に開催した展覧会の図録を販売しています。現代に活躍するアーティストや地域のものづくりに密着したドキュメント。ご興味ありましたらぜひ、ご来館の際にお求めいただくか、ホームページ「本・カタログ」のページをご参照のうえご注文ください。

アクセス/JR川口駅(京浜東北線)東口から徒歩約8分
開館時間/10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日/毎週月曜日※月曜日が祝日の場合はその翌平日
年末年始、施設整備期間

川口市立アートギャラリー・アトリア
〒332-0033 埼玉県川口市並木元町1-76
TEL/048-253-0222 FAX/048-240-0525
http://www.atlia.jp/

